

滋賀 近江八幡 水都八都

一般社団法人 近江八幡観光物産協会
OMIHACHIMAN TOURISM ASSOCIATION

「水都」は水郷のまち、「八都」は近江八幡を指しており、これをスイートハート(恋人)とかけ「近江八幡は郷土の人にとっても観光客にとっても「恋人」のような素晴らしい街である」ということを表したものです

発行責任者: 近江八幡観光物産協会 3000部発行 2018年 3月31日 初版 第27号
滋賀県近江八幡市為心町元9(白雲館内) TEL:0748-32-7003



御狺野乃杜 賀茂神社

全国唯一「馬・競馬・乗馬」守護神
馬の心を今に伝える日本最古の
全国唯一の神社であり日本の「馬の聖地」だ。



あしふせ ぞうめ 足伏走馬
例年5月6日以降の日曜日

歴史とゆらい
賀茂氏の始祖「賀茂建角身命」は、神武天皇が東征にて大和の国(現在の奈良県)あたりに入られる際、八咫鳥の姿となり一行を無事導いたと伝えられています。
御狺野乃杜賀茂神社は、奈良時代の736年(天平8年)に聖武天皇によって創建されました。
約1350年前に、天智天皇が「これからは騎乗技術の発展と馬匹の繁殖が大事だ」と考え、賀茂神社の地に国営牧場を築き、馬の調教と繁殖に力を注がれました。
その後、日本の荒廃を憂いた聖武天皇は、天変地異のない世を願い、国民の災いを封じ、国民の安寧を願う神社を創建するため、陰陽道の祖とも仰がれる、吉備真備(きびのみまきび)に陰陽道を唐(今でいう中国)から取り入れさせました。

馬とのかかわり
この地に、日本初の国営牧場が開かれたことから、創建当初より馬との関りが深く、「馬の聖地」として崇められてきました。
創建時より、御料地(御狺野)として、猟や競馬が行われていました。
平安時代に始められた京都上賀茂神社の競馬会神事を後白河上皇の意により、今日まで継承されています。

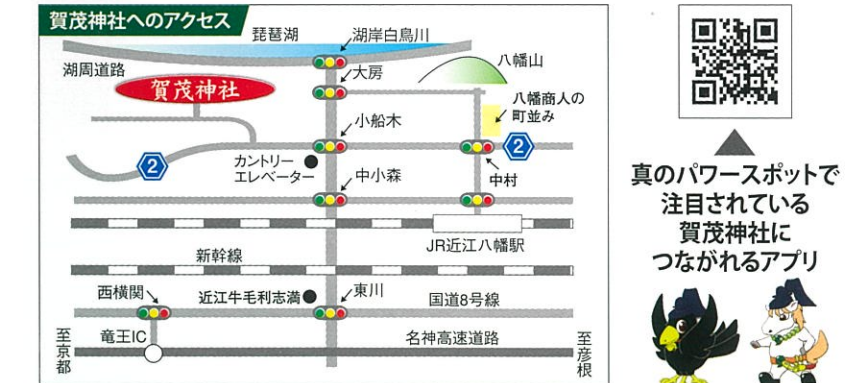
- 御神紋「二葉葵」
別雷神を祭る上加茂神社と母神玉依姫と父の建角身命を祭る下鴨神社の二つからなり、上加茂、下鴨の総称が賀茂神社です。
賀茂神社の裏山には昔から葵が生えていて、それを神懸に飾ったのが始まりで、賀茂神社はそこから神紋となりました。
- 八咫鳥(やたがらす)
神武天皇の東征に際し、八咫鳥に化身して熊野路を先導して功績をあげたという「ヤタガラス」
- 三猿(見ざる・言わざる・聞かざる)
三匹の猿が、それぞれ目や耳・口を押さえているものを言い、これには意味があります。
『身を慎んで悪いことに「見ざる」「聞かざる」「言わざる」という様にすれば幸せに過ごせる』ということから、境内の瓦にも「鬼瓦」に代わり、「猿瓦」がありますよ!

●神主さんの一日
掃除に始まり掃除に終わる
起 床
水行(心身を清める)
自宅の神様へお供え・祝詞
5・30頃
神社の神様へお供え・祝詞・境内清掃
(国家の繁栄や人々の役割や使命が果たされるための祈りなど)
9・30
日常業務(事務命名・紙垂断や祝詞づくり)、各種ご祈祷
20:00~21:00
ご依頼に合わせて一日が終わります。

豆知識

①神主と宮司の違いって!?
神主(かんぬし)と宮司(みやうじ)は、神職の事をいいます。宮司は、神社の代表のことです。賀茂神社には、宮司・禰宜・禰宜さんがお勤めされています。

②祈祷(きとう)・神様とより深い縁を結ぶ(祈り)の時に見る、神様の道具を知っていますか?
大神様のつえ... 神様のパワーを授けてもらえます
御鈴(みすず)... 魂を奮い起こすもの。振ることによって「魔」を除けることができます。
(山に入る時、熊がこないように鈴をつけるのも、魔よけの1つと考えられています)



真のパワースポットで注目されている賀茂神社につながるアプリ

編集後記
パワースポットという言葉は近年よく耳にしますが、足を踏み入れた人だけが感じる場所があるのだと、取材を通して実感しました。まさに、そこだけ空気も違う異空間の様な不思議な感覚です。後で聞けば、境内の中でも、最も霊威の籠る地であること、驚きました。また、境内の奥には、紅葉の庭が広がり、春には、吸い込まれるような新緑の紅葉が生い茂り、全体が癒されていくのを感じます。感謝の気持ちをもって、平和を願い祈り続けることは、いつの時代も変わることはありません。神主さんを見かけたら声を掛けてみてください。進むべく道へ導いてもらえるような気がします。癒し、喜び、感動できる場所が、近江八幡にはたくさんあることを誇らしく思います。日本の「気」が集まる場所に足を運ぶだけでも、明日、何か変わっているかも知れませんね。(林)

- 参考文献**
- ・近江八幡市史3巻
 - ・賀茂神社ホームページ <http://kamo-jinja.or.jp>
 - ・賀茂神社発行資料「馬の聖地への祈り」「御狺野乃杜 賀茂神社」

近江八幡観光物産協会ホームページ <http://www.omi8.com>
近江八幡市ホームページ <http://www.city.omihaichiman.shiga.jp/>
賀茂神社ホームページ <http://kamo-jinja.or.jp/>

馬の聖地と牧場
天智天皇が日本で初めて馬の国営牧場を開いたとの伝えから神社近くで在来種の馬を集めた「日本の馬御狺野乃杜牧場」がオープン。
牧場は1250㎡敷地では、木曾の馬や北海道和種産子の在来馬がいます。
初心者から体験できる古式騎乗方法(流鏑馬)スクールなど子どもたちと馬とのふれあいができる牧場です。



みかりののり
日本の馬 御狺野乃杜牧場 代表: 磯部 育実
〒523-0058 滋賀県近江八幡市加茂町1780番地
●ご予約はお電話で
TEL: 0748-43-0410
※少人数での運営のため、つながりにくい場合がありますので... その際はお手数ですが時間帯を変えておかけ直してください。
mail: mikarinobokujo@gmail.com
<http://kansai.me/mikarinobokujo/>

東京方面から

東京駅	東京I.C	大阪駅	吹田I.C
東海道新幹線 約1時間55分	東名高速道路 約350km	JR京都線(東海道本線) 約30分	名神高速道路 約70km
名古屋駅	小牧JCT	京都駅	竜王I.C
東海道新幹線 約30分	名神高速道路 約66km	JR琵琶湖線(東海道本線) 約30分	約20分
米原駅	米原I.C	彦根I.C	近江八幡
JR琵琶湖線(東海道本線) 約20分	約8km	約20分	
		八日市I.C	
		約40分	
		約30分	

大阪方面から

近江八幡

賀茂神社へのお問い合わせは
TEL 0748-33-0123
FAX 0748-36-3830

観光・物産・ボランティアガイドのご案内は
近江八幡駅 北口観光案内所 ☎0748-33-6061
安土駅 観光案内所 ☎0748-46-4234



賀茂祭 足伏走馬(あしふせそうめ)

御狩野乃杜に鎮まります
賀茂大神様の一年に一度の大祭です。

例年5月6日以降の最初の日曜日には、「賀茂祭」と呼ばれる例祭が行われます。

この祭りの特徴は、日本の競馬の原点とも言われる、平安時代の宮中の競馬儀式が、今も引き継がれて引き継がれています。それが、この「足伏走馬」という行事です。

この行事は、二頭の馬が同時に疾走して速さを競う儀式で、現在一般に行われる競馬のように、何頭もの馬が一斉に走りだすという勝負ではありません。

京都の賀茂社の分霊を祀る社とされていることから、上賀茂神社で練り広げられる「競馬(くらべうま)」神事との関りが深く、上賀茂神社の競馬の様式をそのまま踏襲するものとなっています。

騎乗する者は、古来の二種類の舞楽姿になります。それぞれ赤と黒の素襖(すおう)に身を包み、烏帽子をかぶり、馬場にて行事に臨みます。足伏走馬の行事自体、農機具の発達などから馬を飼育する家がなくなったことを理由に一時縮小して行われていました。しかし近年では、県内の牧場に出走する馬の出演を依頼する形で復活を遂げ、古来の馬の行事を知る貴重な儀式として崇敬されています。



境内には日本一の神馬像があります



「足伏走馬」行事の様子

境内の馬場

境内の馬場(直線400メートル、幅10メートル)には、三本の目印の木があります。

馬場入口の木「出馬の木」まで、二頭が連れだして進みます。

並足のまま「三鞭の木」まで行き、そこでスタートの合図である太鼓が打ち鳴らされ競争が始まります。

「三鞭の木」から「勝負の木」までの間に、「オー、オー、オー」の声を上げながら鞭の所作を行い、両馬は全力疾走で駆け抜けます。

「勝負の木」の所で、勝負が決まります。勝利した馬の騎手は、そのまま神職の前に出て、勝礼を受け取ります。

勝ち上がり式で、勝ち馬を決める為、この行事を7番勝負が行われます。そのため、この行事を「七頭の馬、七番の神事」とも言われています。



賀茂の杜(御狩野乃杜)パワースポット

この杜は、奈良時代に陰陽道にて選ばれた地であり、森羅万象の「気」の集まる「日本の聖域」とされており、災い封じの神社にもなっております。

一般の神社の場合、本殿の向きは南向きですが、陰陽道が関わっている関係で、本殿が北東(表鬼門)という特殊な方位にあり、本殿の向いている方位が南西(裏鬼門)になっています。神社内には、七霊所のパワースポットがあり、左記の道順で鳥居から赤線に沿って参拝すると、特に御神徳がいただけるようです。

賀茂神社七霊所参拝手順



① 霊木「連理の眞榊(産霊社)」
古木百選の一つで、二本の榊が一本に結ばれた、縁結び子授け安産等の霊験ある榊といわれています。



② 霊木「榎」
雷が落ち、皮一枚になったにもかかわらず、現在も成長し続ける霊力ある榎です。



③ 霊木「神杉」
当神社の御神木です。樹齢八百年のこの杉には白蛇が住んでおり、これを見ると幸せになると言われています。



七霊所



⑦ 御旅所(御生所)
賀茂大神が森の霊威を受けられ再生される場所で霊威の顕れる場所とされています。



⑥ 祭祀跡(祈りの庭)
御本殿の真北にある天地万物の祈りの場所、霊威の籠る地と言われています。



⑤ 霊木「夫婦榊」
一本の幹から二本の榊がまっすぐ伸びた、賀茂大神様の結びの霊力が宿る霊木です。



④ 鬼門向きの御本殿
陰陽道の技により南西の裏鬼門に向け、日本の災厄いを封じるために造営され、人々の災厄を封じる社と言われています。

神社の参拝作法

二礼 二拍手 一礼
※二礼二拍手・一礼は、神社によって異なります。



手水舎(てみずしゃ)マナー

参拝者が身を浄めるために、手水を使う場所のことです。



「賀茂神社」ご朱印

朱印とは、主に神社や寺院において、主に参拝者向けに押印される印章です。



境内の四季の花

境内のいろんな花や木々の彩りのほんの一部をご紹介します!



冬 おしち



秋 紅葉



夏 紫陽花



春 桜

賀茂祭スケジュール

- 午前9時 …… 子ども樽御輿お祓い
- 午前11時 …… 例祭に奉仕する馬たちが7頭到着
- 午後1時 …… 例祭「賀茂祭」斎行 一年に一度の賀茂神社の斎行。神職、巫女・楽人、神役奉仕・馬出番・稚児・参拝者などが祭場へ向かいます
- 午後2時 …… 渡御「神幸の儀」 午後2時30分 御旅所祭
- 午後3時 …… 足伏走馬行事 祭典終了後、全国で2つしか残されていない、古式の正式な形を残す競馬行事「足伏走馬」を7頭の馬で斎行します。
- 午後4時30分 渡御「還幸の儀」 賀茂神様が本殿へお還りになります。
*馬とのふれあい
- 午後5時 …… 還御「本殿祭」 神様が本殿に戻られ、お還りになる祭典。



賀茂祭の様子